

横田基地にオスプレイはいらない 11・26東京大集会

「11月29日(水)14時30分頃、屋久島沖で所属不明のオスプレイが墜落したと18番(海上保安庁)通報があった」とオンラインニュースで配信されました。その後の報道で横田基地所属のCV-22で乗務員8人であることが判明しました。

オスプレイはかねてから事故が多発し、開発から57人の米兵が事故死しています。2017年12月には、沖縄県名護市で墜落事故が起こり、2人の乗務員が負傷する事故も発生しており、その危険性は指摘されています。

2012年、沖縄県普天間基地配備計画以前より、国内配備反対の運動は強まってきましたが、日本政府は普天間基地への配備を強行しました。現在、普天間基地に17機、横田基地に6機が配備され、さらに航空自衛隊木更津駐屯地にも14機が配備されています。2022年2月の事故を受け、一時飛行中止となり点検整備が行われましたが、9月に「安全が担保された」とし、わずか2週間で飛行が再開されています。その後も202



集会の後、パレードで訴えました

3年8月にオーストラリア北部で墜落、乗務員3人が死亡する事故が起こり、そして今回の事故が発生しました。

その3日前の11月26日(日)に「横田基地にオスプレイはいらない11・26東京大集会」が、多摩川緑地福生南公園で行われました。会場には650人が集まり、城南保健生協組合員も6人が参加し、オスプレイの危険を訴え、配備撤回、2024年からの10機体制に反対する集会決議を上げたばかりでした。もし、このような事故が横田基地周辺で起こったならば、東京都や周辺自治体、住民からも不安の声が上がっています。

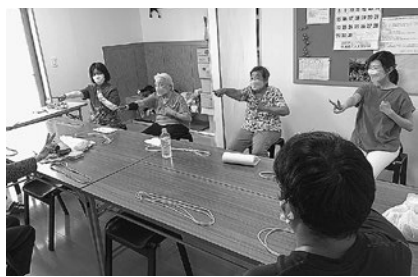
三多摩地域では「有機フッ素化合物(PFAS)」による水道水汚染も広がっており、横田基地の消火訓練で使用される消火剤が原因と言われています。

城南保健生協では引き続き「オスプレイ配備撤回」「PFAS汚染の原因究明」など、日本政府に求める運動に取り組んでいきます。署名等へのご協力をお願いします。

大森西北・蒲田支部 入新井班

大森北地域で新日本婦人の会大田支部の皆さんを中心に「ちぎり絵」などを行っていましたが、会員の高齢化にともない、体操や健康チェックも行っていこうと城南保健生協の班会として開催するようになりました。

大森北6丁目穀穂稻荷神社2階の「入新井2丁目北町町会会館」をお借りして、毎月第3火曜日14時から「ちぎり絵」15時から健康チェックと体操の2部構成で行っています。



新班誕生です

支部だより

大森・糀谷支部 なかしんまつり



子どももおとなもいっしょに楽しめました

大森・糀谷支部と大森診療所の共催で、毎年夏に開催していた「なかしんまつり」。コロナ禍で中止していましたが、11月25日(土)、4年ぶりに行いました。

これまでは、かき氷やポップコーンなどを提供して水風船などで子どもたちと遊ぶ形式でしたが、今回はバルーンアートやダンボールプーラン、ぶんぶんゴマなど、身近にある材料でいっしょに作って遊ぶ体験型のおまつりを行いました。

あいにく気温も低く肌寒い1日でしたが、公園に遊びに来ていた子どもたちや家族連れの方が立ち寄ってくれました。

「歌って健康」、「笑って元気に」、新年うた広場(豊支部主催)

日時：1月13日(土) 13時30分～15時30分
参加費：100円(歌詞カード代)
会場：ゆたか診療所3階・ゆたかの家

生バンド(フェアトレード)の演奏で歌います。「たぎび」「トロイカ」「高原列車は行く」「翼をください」「さんぽ」など約20曲を予定。

- ※定員は30名(定員を超えた場合は抽選)
- 参加ご希望の方は1/10(水)までに生協本部(03-3762-0266)へ連絡を
- 当日はマスク着用をお願いします。水分をご持参下さい

独り言 ④

鏡 政子

「今日は何日?」と聞かれたら「私ならわかる」と思っていた。実はカレンダーに頼っていたらしい。そして、カレンダーを見るのを忘れていたらどうなるか。やはりわからない仲間なのだ。認知機能は衰えている。「あなたは大丈夫」なんておだてられて、いい気になっていたら。話し相手がないのだから本を読むことにしよう! 声を出して。けれど、少し読むと居眠りをしてしまう。

「本を読む暇があったら、手伝いを」と言われたときがあったが、今は自由だ! でも、うまくいかない。それなら、朗読の会に参加しよう。家にもついているより、バスや電車に乗り継いでいくことは、危険をともなう。家族は「危ないから」として欲しくないと思ってしまうかもしれない。

電車に乗ると、異様な視線を感じる。でも、実行するつもりだ。今日は何日かわかるためにも。

品川生協連絡会「しなが輪」で 带状疱疹学習会開催



わかりやすくお話いただきました

品川区で活動する購買生協と城南保健生協は、定期的に連絡協議会を行っています。学習会なども企画し、11月28日(火)に品川区のきゅりあんで「带状疱疹学習会」を開催しました。

この間、「带状疱疹」についての学習会をさまざまな場所で行っています。最近ではテレビコマーシャルで「50歳を過ぎたらワクチン接種を」など頻繁に放

送されていますが、今回は、品川区の購買生協の運営委員の方々に向けての学習会で25名が参加しました。講師は、ゆたか診療所看護師長の齊藤明日香さんです。

当日は、「かかると痛いのか?」「何回もかかるのか?」「ワクチンは2種類あるけど、その違いは?」「申請のやり方は?」「行政からの補助金は?」「コロナワクチンやインフルワクチンと一緒に接種してもよいのか?」など、ていねいにお話をいただきました。

会場からは、「私は2回もかかったことがあって、本当に大変だった」「知識を得て、接種しようと思った」などの声が出されました。

「带状疱疹」については、「詳しく学びたい」の声が多く、今後さまざまな場所で行う予定です。

2月29日(木)には、東都生協と城南保健生協の共催での学習会も開催します(4面参照)。関心のある方は、ぜひご参加下さい。

命どう宝、生き抜け! 私、生きましたよ

映画「島守の塔」

日時：3月30日(土) 14時15分～16時30分(開場13時45分)
会場：大田区民ホールアプリコ 大ホール (JR蒲田駅東口下車 徒歩3分)

鉄の暴風と言われた激しい空襲、艦砲射撃、上陸戦の絶望に追い込まれた沖縄戦。その中で「生きろ!」と後世に一筋の命を託した2人の官僚と沖縄の人びとの物語

チケット：一般・シニア1,200円(当日1,500円)
小・中・高校生：800円(当日のみ)
お問い合わせは生協本部まで
03-3762-0266

武力では平和は守れない「医師中村哲 現地活動35年の軌跡」
20年以上に渡り撮影した映像素材から医師、中村哲の生き様を追うドキュメンタリー

「荒野に希望の灯をともし」 映画上映会のご案内

日時：3月19日(火) 19時上映開始
会場：アプリコ小ホール(170名)
チケット：1,000円(前売りのみ・全席自由席)
主催：映画実行委員会
お申込は生協本部まで
03-3762-0266

- 百の診療所より一本の用水路を
- 彼らは殺すために空を飛び、我々は生きるために地面を掘る(中村哲医師の言葉です)

(c)日本電波ニュース社